



平戸の新星 仲間と紡ぐ 成長の軌跡

練習が休みの日にチームメイトと南部ライフアリーナで自主練習をする西悠真さん。小学2年生のとき、友達や先輩が楽しそうにサッカーをしている姿を見て、自分もやってみたいと思いサッカーを始めました。その年に開催された2022年FIFAワールドカップは、悠真さんにとって大きな刺激となり、

サッカーへの思いはさらに強くなったといえます。現在所属しているグランディオスFCでは、仲間と声をかけ合いながらプレーすることを大切にしています。連携して生まれた得点は何よりの喜びであり、サッカーの楽しさを強く感じる瞬間だと話します。

5月末の第52回美濃田杯（バーモンド杯長崎県大会平戸市予選）で優勝を経験し、個人としても平戸市や長崎県の強化選手に選ばれ、選抜チームとして大会に出場するなど、着実に成長を重ねてきました。

サッカーを通して出会い、共にプレーしてきた先輩たちは、今も悠真さんの憧れの存在として心に残っています。

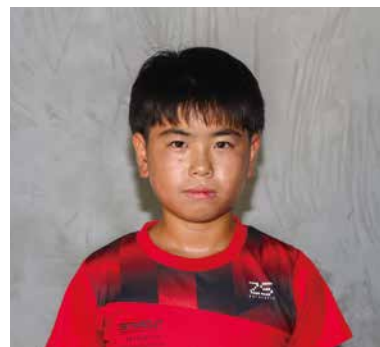
将来の夢はまだ模索中ですが、これまでの経験と出会いが力となり、悠真さんはこれからフィールドで成長を続け、その一歩一歩が、未来へとつながる確かな軌跡になっていきます。

『感謝の気持ちを忘れずに頑張れ！』

サッカーを通して、たくさんの友達をつくってほしいです。

そして、これからも感謝の気持ちを忘れず、大好きなサッカーを頑張って！

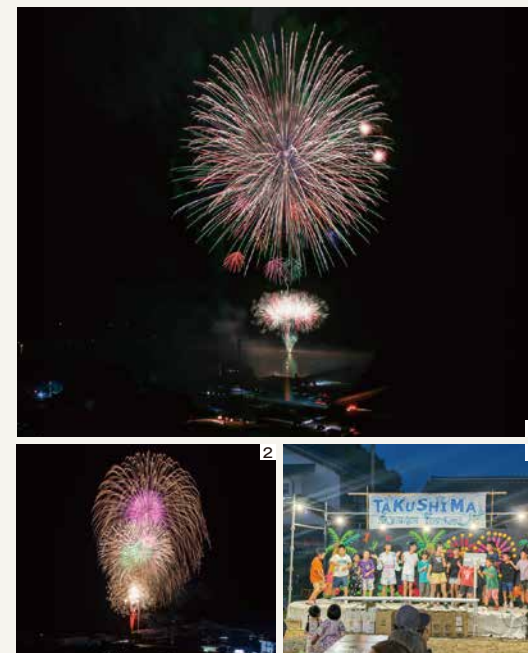
父 西 利貴 さん



野子小学校
6年
にし 悠真 さん
(野子町)

基本的にスポーツが好きで、野球やバレーなども、よくテレビ観戦しています。

夏を彩る地域の祭り



8月10日に「2026たくしま夏祭り」、12日に「第38回大島村夏祭り花火大会」、13日に「生月漁協花火大会」、15日に「館浦花火大会」が開催されました。各会場には大人から子どもまで幅広い世代が訪れ、出店やステージイベントを楽しみながら、地域の夏のにぎわいを満喫する姿が見られました。

夜空に打ち上げられた花火は色鮮やかな光を広げ、会場には歓声や拍手が響きました。また、海やまちを照らす花火の美しさに、訪れた人々は夏のひとときを楽しみ、笑顔があふれていました。

今年も、平戸の夏を彩る各地域の花火大会が、多くの市民や観光客に季節の魅力と楽しい夏の思い出を届けました。

(写真) 1_生月漁協花火大会 / 2_館浦花火大会 / 3_2026たくしま夏祭り

人口の動き

()は、前月との比較
令和8年8月1日現在

■総人口	26,686人 (-78人)	■平戸地区	15,261人 (-40人)
■男 性	12,791人 (-34人)	北部地区	9,199人 (-28人)
■女 性	13,895人 (-44人)	中部地区	2,880人 (-14人)
■世帯数	13,364戸 (-32戸)	南部地区	3,182人 (+2人)
■市民課戸籍住民班	22-9123	■生月地区	4,240人 (-17人)
		■田平地区	6,378人 (-17人)
		■大島地区	807人 (-4人)

交通事故件数

令和8年7月末現在

■件 数	17件 (17件)
■死 者	0人 (0人)
■負傷者	23人 (22人)

※()内は昨年同期

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

火災救急件数

令和8年7月末現在

■火災	16件 (13件)
■救急	987件 (1,045件)

※()内は昨年同期

問 消防本部予防課 ☎22-3167

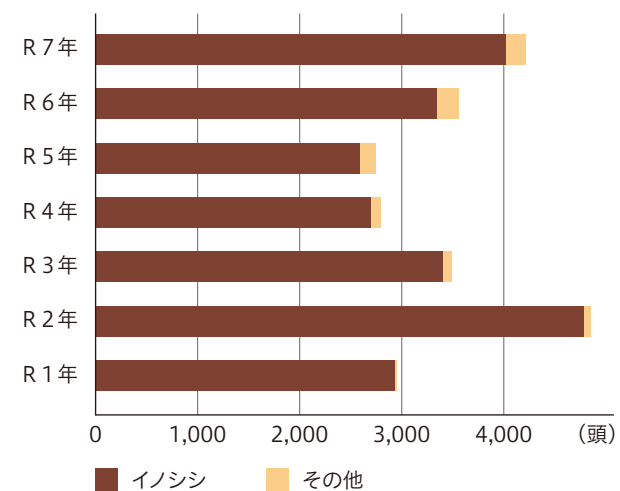
街で見かけるイノシシ、実は再急増中

最近、イノシシを目撃したと耳にするようになったと感じていませんか？平戸市内では、約15年前にイノシシ被害の大きなピークがありましたが、平戸・田平猟友会や生産者が一丸となって被害防止対策を進めてきた結果、捕獲数は年々減少し、「イノシシを見かけなくなった」と思えるほど落ち着いた時期が続いていました。

ところが、ここ2～3年は捕獲数が増え始め、かつてのように住宅街や街中での目撃情報が増加しています。イノシシが街中に出没する理由は、温暖化などに伴う山の中の環境変化や、街の食べ物の匂いに釣られるなど、理由はさまざま考えられます。

私たちが、イノシシの性格や行動を正しく知って、落ち着いて対応することが大切です。

平戸市の有害鳥獣捕獲数



街でイノシシに出会ったら

もしも、イノシシと出会ったらパニックにならず、次の3つの約束を守りましょう。

目をそらさず、静かに後ずさり

背中を見せて走って逃げると、イノシシは追いかけてくる習性があります。相手を刺激しないよう、静かに後ろに下がきましょう。

絶対に近づいたり、おどかさない

かわいい子どものイノシシを見かけても、絶対に近づいてはいけません。近くに必ず気が荒くなったお母さんイノシシが潜んでいます。大声を出すのも止めましょう。

建物や高い場所に避難する

近くの建物に入ったり、頑丈なブロック塀の後ろに隠れたりして、安全を確保してください。



イノシシを街に呼び寄せないためにできること

イノシシは「食べ物がある場所」をよく覚えています。イノシシにとって「魅力のない街」をつくり、街に近づけないための工夫を始めましょう。

エサを断つ(引き寄せない)

畑の余った野菜や、庭に果物を放置していませんか？イノシシにとって、これらは最高の「ごちそう」です。収穫しない果実は早めに採る、生ごみはしっかり密閉して捨てるなど、エサになるものを外に置かないことが肝心です。

隠れ場所をなくす(身を潜めさせない)

家のまわりの草が伸びていると、イノシシは安心して隠れてしまいます。草刈りをして見通しをよくすることで、「ここは危なくて近寄れないな」と思わせることができます。

物理的にガードする(侵入を防ぐ)

頑丈な柵(フェンス)や電気柵を設置して、大切な家や田畑、集落へ入れない仕組みを作りましょう。



▲イノシシ侵入を防ぐワイヤーメッシュ(写真左)と電気柵(写真右)



特集 有害鳥獣対策の最前線

-地域を守る力が厄介者を新たな資源へ変える-

図 農業振興課農山村対策班 ☎22-9151

実りの秋。食欲の秋。これからの季節は多くの農作物が収穫を迎え、生産者にとっては胸高鳴る時期となりますが、同時にイノシシなどの野生鳥獣の活動が最も活発となる時期でもあります。

平戸市の農作物被害額は、近年、減少傾向にあるものの、令和7年度は1,100万円の被害がありました。被害を受けた生産者は、そのショックの大きさから次年度の作付けを中止したり、離農するケースも出ています。さらに、管理されなくなった農地は、イノシシのすみかとなり、近隣の被害を拡大させるといった悪循環が生じています。

平戸市では、平戸猟友会、田平猟友会の協力のもと、昨年度、4,000頭を越えるイノシシを捕獲しましたが、それでも、住民の生活圏での出没情報など、近年、街中での野生鳥獣被害の相談も増えています。

今回の特集では、特に相談の多いイノシシとアライグマについて、私たちの暮らしを守るため、どのような対策をとるとよいのかを紹介するとともに、平戸市が任命している鳥獣被害対策実施隊員の活動状況を紹介します。

さらには厄介者のイノシシを新たな地域資源としてブランディングするなど、ジビエ利活用に取り組んでいる(株)Green Peaceの取り組みを紹介します。

イノシシってどんな生き物？

- ▶ **食べ物** タケノコ、米、イモ、果実、ドングリのほか、カエルなど
- ▶ **性格** 基本的には臆病な性格です。パニックになると暴走して、猛スピードで突進してきます。
- ▶ **特性** 嗅覚が優れ、犬と同じくらい鼻が利きます。鼻先は人間の手の役割を果たし、70キログラムの石も動かします。視力は悪く、色がわからないと言われています。
- ▶ **運動能力** ジャンプ力がバツグンです。助走をつければ、約1メートルの柵も跳び越えます。泳ぎも得意で、海を泳いで渡る姿も確認されています。



新たな脅威!?アライグマ急増中

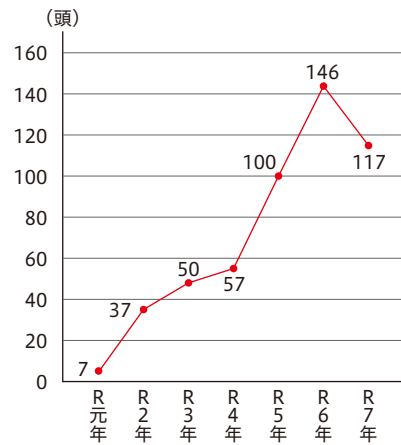
イノシシに加えてもうひとつ問題になっているのが「アライグマ」です。見た目は愛くるしいですが、実はとても気性が荒く、運動能力が高いのが特徴で、海外から日本に入ってきた生き物のうち、日本の自然や人、農林水産業に悪い影響を与える「特定外来生物」に指定されていて、生きたままの飼育、運搬などが原則として禁止されています。

近年、田平地区においても捕獲数が増加しており、農作物被害や居住区への侵入被害の相談があつています。早期発見・早期対策（徹底捕獲）の取り組みが重要です。

アライグマの特徴

- 増えやすい 通常1年で性成熟し、1年に3～6頭出産します。天敵がいらないため、多くが生き残りやすいです。
- 家屋に侵入する 手先が器用で、屋根裏などに住み着いて家を汚してしまうことがあります。
- 野菜や果物が大好物 雑食性で、家庭菜園の作物や、農家の作物を荒らしてしまいます。
- 感染症の危険性 人にも感染する恐れのあるアライグマ回虫などの病気を持っています。

平戸市のアライグマ捕獲数



松 イノシシは、箱わなの入口に蹄が当たっただけでも中に入らなかつたり、箱わなが作動する蹴り糸をよけてエサだけを食べたりと、賢いところもあります。箱わなに警戒しないように、周りを泥で



わなを仕掛ける時に気を付けていること
木 イノシシはキレイ好きです。箱わなの周りの草を刈ってきれいにしたり、わなの中に置くエサも定期的に交換するようにしています。

横 イノシシに遭遇したら
横 イノシシは基本的には臆病な動物です。もしも街中で遭遇しても、イノシシが自分から向かってくることは珍し



イノシシ以外の被害
早 田平地区では、近年、アライグマの農作物被害や、民家の屋根裏に入り込んでいるといった話を聞くようになりました。捕獲数はまだ多くないですが、中型の箱わなで捕獲しています。見た目はかわいいうアライグマですが、気性が荒いので、近づかないように注意してください。

宝亀地区では、毎年、住民が協力し、捕獲隊として地域でイノシシの捕獲をしています。その分、農地の管理もそれぞれが力を入れています。

被害を減らすために
早 イノシシやアライグマなどのエサになるような物を置さなければいけないなど、動物が寄って来ないようにすることが大切です。家の周りに忌避剤を撒いても効果があると思います。

イノシシを興奮させないように気を付けて、目をそらすずに静かに避難してください。

最前線で地域を守る平戸市鳥獣被害対策実施隊員

わななどを使って有害鳥獣を捕獲するには、狩猟免許が必要です。狩猟免許には散弾銃・ライフル銃などを使う「第一種銃猟」、空気銃などを使う「第二種銃猟」、「網猟」と、箱わなやくくりわななどを使う「わな猟」の4つの区分があります。イノシシの捕獲には「第一種銃猟」または「わな猟」の狩猟免許が必要です。

平戸市には、平戸猟友会と田平猟友会があります。猟友会は狩猟免許を所持している人で構成され、狩猟シーズンの安全指導や野生鳥獣の保護管理などの他に、平戸市からの要請や委託を受けて、農作物や人への被害を防ぐための駆除や追い払いも担っています。

また、平戸市では、鳥獣から農林水産業の被害を防ぐために、平戸地区と田平地区の猟友会長が推薦する猟友会員を平戸市鳥獣被害対策実施隊（以下、実施隊）として任命しています。現在、4人の隊員を任命しており、猟友会の活動に加えて、街中のパトロールや被害相談対応、捕獲や被害防止の指導・助言などを行っています。時には、行政では対応できない緊急事案でも素早く対応し、私たちの安全な暮らしを陰で支え続けています。

街の安全を守るため、日々ひそかに、そして力強く活動している「平戸市鳥獣被害対策実施隊員」。

ここでは、有害鳥獣対策の最前線で活躍する隊員の声をお届けします。



Interview

平戸市鳥獣被害対策実施隊

- (写真右から)
- 横 横石 紀彦 さん(宮の町)
 - 木 木村 史城 さん(川内町)
 - 早 早田 雅良 さん(田平町)
 - 松 松田 隆也 さん(宝亀町)



実施隊の活動で苦労したこと
横 箱わなが重いので、運ぶのが大変です。また、イノシシは大きいと100キログラムを越えるものもいるため、捕獲したイノシシを運ぶのも大変です。谷下の大物のイノシシを数メートル引き上げた

実施隊になるきっかけ
横 父が猟師をしていたので、自然と猟師になりました。猟友会には28年前に入り、現在は会長を務めています。実施隊は18年目になります。

木 私も祖父が猟師をしていたので、8年前に平戸に帰ってきたタイミングで、猟友会に入りました。実施隊は5年目になります。

早 私は、40年ほど前に狩猟を始めて猟友会に入りました。実施隊は4年目になります。

松 私は、地域で農作物などのイノシシ被害が多かったため、10年前に狩猟免許を取り、猟友会に入りました。実施隊には、今年の4月に任命されました。

イノシシの捕獲状況
横 最近、100キログラムを超える大物が少なくなつた印象があります。

これまでの取り組みの効果がでてきていると感じています。今では、大きい個体でも60〜70キログラムのイノシシがわなに掛かっています。

秋は捕獲頭数が多く、平戸市全体で月に千頭捕獲することもあります。

のは苦労しました。

木 けがに気を付けています。基本的にイノシシの作業をするときは皮の手袋を必ず着けるようにしていますが、捕獲したイノシシが横たわって動かなくなつたため、素手を近づけたところ、頭が少しだけ動いて牙で手をけがしたことがあります。その場ですぐに消毒し、傷口の血も絞りだしましたが、細菌で指が2倍に腫れたこともありました。

私たちは平成29年から試験的にイノシシの加工を始めました。現在は農業法人として、ジビエ加工に加え、ジャガイモや玉ねぎなどの野菜の生産にも取り組んでいます。私自身、祖父が平戸で精肉店を営んでいたこともあり、子どものころから店の手伝いをしたり、焼き肉店で働いたり、食肉に触れる機会が多くありました。その中で「命をいただく」ということの重みを自然と学んできました。平戸ではイノシシを食べる文化があまり根付いていませんが、多いときには年間6千頭も捕獲されていました。これまで埋設処理されていたイノシシですが、有害鳥獣とはいえ一つの命です。「無駄にせず活かしたい」という思いから、加工に踏み出しました。

イノシシ肉と聞くと、固い・臭いというイメージを持つ人も少なくありません。だからこそ、私たちは品質に強くこだわっています。止め刺しの時間が明確な個体しか扱わず、少しでも臭みが出る可能性があるものは加工しません。



(株)Green Peace
平戸ファクトリー工場長
にし きよぶ
西 清信 さん

(株)Green Peaceの平戸ファクトリーでは、5人の職人でイノシシを捌いています。近年、人材育成にも取り組んでいて、東京から志々伎町へ移住した新人の平松さんは、狩猟免許も取得し、自身が捕獲したイノシシを捌いて食べることを目標に、イノシシ肉の捌き方などを修行するため一緒に働いています。

私たちは、新鮮なイノシシ肉を提供するため、捕獲したイノシシが生きているうちに、現場に引き取りに行きます。すぐに適切な処理を行い、鮮度を保ったまま加工しています。大きいイノシシを運ぶのは大変ですが、脂がのってとても美味しいです。



みんなの知恵と行動で、住みやすい街を

ここまでイノシシの生態から実施隊員の活躍、そして命を循環させるジビエの取り組みを紹介してきました。イノシシといった有害鳥獣の対策は、猟友会や行政だけの問題ではありません。一人ひとりの小さな心がけが集まれば、イノシシなどの野生生物との適切な距離感を保ち、誰もが安心して暮らせる街をつくることができます。未来の安全な暮らしのために、できることから一つずつ、みんなで取り組みましょう。

Interview



(株)Green Peace
代表取締役 CEO
いちやま そう
市山 宗 さん

ジビエは最初の印象がとても大事で、「おいしい」「また食べたい」と思っていただけの品質を維持することを何より大切にしています。

ジビエで苦勞するのは、仕入れが安定しないことです。月によって捕獲数が大きく変わるため、出荷数も一定になりにくく、飲食店のレギュラーメニューとして採用されにくいという課題があります。私たちは加工品を販売するサイトも運用しています。安定して出荷できるよう、猟友会との連携を強化し、取扱量を増やして「平戸いのしし」クオリティーを全国へ届けたいと思っています。

将来的には、私たちが加工したイノシシを平戸で直接味わっていただける飲食店をオープンすることが私の目標です。お客さんの「美味しい」という声を目の前で聞ける場をつくりたいと考えています。

害獣ではなく、山の恵みとしての新たな資源。命を大切にしながら、新鮮な「平戸いのしし」をこれからもお届けします。



厄介者を魅力ある「地域資源」に

農作物に被害を及ぼす「厄介者」として捕獲されるイノシシ。そのイノシシをただ廃棄するのではなく、1つの命に感謝を込めて地域の新たな資源へと生まれ変わらせる取り組みが、平戸市で進んでいます。

これまで、捕獲されたイノシシの多くは埋設処理されていました。しかし、適切に処理されたイノシシ肉は栄養価が高く、風味豊かな食材として全国でも注目されています。

(株)Green Peaceの平戸ファクトリー(田平町)は、猟友会と連携して捕獲したイノシシを引き取り、衛生管理の行き届いた施設で解体・加工を行っています。ソーセージやベーコン、パテなど多彩な商品として生まれ変わったイノシシ肉は、「平戸いのしし」ブランドとして平戸市内の平戸瀬戸市場やひらど新鮮市場で販売されているほか、インターネットを通じて全国へ届けられています。

この取り組みは、単なる「駆除」ではなく、山の恵みを地域の資源として活かす「命のリレー」という考え方に基づくものです。捕獲から加工、販売までを一体的に行うことで、農作物被害の軽減、猟友会の高齢化対策、地域産業の創出など、持続可能な地域づくりに大きく貢献しています。

イノシシの命を無駄にせず、地域の力へと循環させるこの取り組みは、今、全国から注目を集めています。

令和7年度鳥獣対策優良活動表彰農村振興局長賞(捕獲鳥獣利活用部門)を受賞

鳥獣対策優良活動表彰は、野生鳥獣の被害防止や捕獲鳥獣の利活用に優れた取り組みを行う団体・個人を表彰するものです。

(株)Green Peaceは、猟友会と連携してイノシシの捕獲個体を引き取り、食肉加工やインターネット販売を通じてジビエの利活用を進めています。これらの取り組みは、農作物被害の軽減に寄与するとともに、高齢化が進む猟友会の活動を支援するものとして高く評価され、農林水産省農村振興局長から表彰されました。



KYFA第11回
九州O-70サッカー大会
長崎県選抜チーム **優勝**
ながしま ゆきひで
長島 幸英さん
(岩の上町)



KYFA第25回
九州O-60サッカー大会
長崎県選抜チーム **優勝**
ひらき やすとも
開 靖友さん
(野子町)



第6回
長崎県障害者スポーツ大会 **優勝**
第28回日本ボッチャ選手権大会
中四国・九州・沖縄ブロック予選会 **優勝**
もとやま こう
本山 煌さん
(佐世保特別支援学校高校1年)



第22回
全九州女子相撲選手権大会
一般個人の部(中量級) **準優勝**
ささき さくら
佐々木 咲礼さん
(北松農業高校1年)



各種表彰者

日ごろの努力と練習の成果が実を結び、各種大会やコンクールなどで優秀な成績を収め表彰された皆さんを紹介します。

第71回 全国高等学校軟式野球選手権長崎大会

優勝 北松農業高等学校軟式野球部



令和8年度第76回 長崎県学校農業クラブ連盟年次大会

平板測量競技
最優秀賞 北松農業高等学校Aチーム

くじゅうろ はるき 久住呂 悠生さん(左) (1年生)	やまもと みなみ 山本 美南さん(中左) (3年生)
まえだ ひなの 前田 陽菜乃さん(中右) (3年生)	みなかわ りゅうと 皆川 龍統さん(右) (3年生)



令和8年度 長崎県中学校総合体育大会

相撲競技・男子団体戦
優勝 中野中学校相撲部(拠点校)

ひがし じんせい 東 仁誠さん(左) (生月中2年)	たぶち こうへい 田渕 航平さん(中左) (生月中2年)
ますや ゆうだい 栴屋 雄大さん(中右) (田平中3年)	みいだ いつき 見井田 樹さん(右) (中野中2年)



令和8年度 長崎県中学校総合体育大会

空手道競技・女子団体形
優勝 生月中学校

もり さきは 森 咲葉さん(左) (2年生)	えぐち みゆ 江口 美優さん(中左) (2年生)
えんどう つむぎ 遠藤 紬さん(中右) (2年生)	おおかわ さゆき 大川 紗幸さん(右) (2年生)



令和8年度長崎県
相撲選手権大会
個人中学生の部(無差別級) **優勝**
ますや ゆうだい
栴屋 雄大さん
(田平中3年)



わんぱく相撲長崎県大会
個人6年生男子の部 **優勝**
ふくみ ねお
福海 希王さん
(田平北小6年)



わんぱく相撲長崎県大会
個人5年生女子の部 **優勝**
みいだ かえで
見井田 楓さん
(中野小5年)



第35回長崎県
ジュニア相撲選手権大会
個人2年生の部 **優勝**
みいだ あらた
見井田 新さん
(中野小2年)



令和8年度長崎県
中学校総合体育大会
空手道競技・男子個人形 **優勝**
くが しおん
久家 聖穂さん
(生月中3年)



第49回剛柔会
九州・沖縄地区選手権大会
小学1年生男子形の部 **優勝**
みちぞえ だい
道添 太心さん
(平戸小1年)



第42回長崎県少年少女
空手道選手権大会
1年生男子形競技 **優勝**
ながさわ れい
永澤 玲さん
(平戸小1年)



第48回交通安全こども
自転車長崎県大会
個人の部 **第1位**
いよし こうた
井吉 航大さん
(平戸小6年)



合併処理浄化槽が支える自然環境

生活には多くの水を使用しています。合併処理浄化槽はトイレの汚水だけではなく、台所やお風呂・洗面所から出る生活排水も同時にきれいにする浄化槽です。また、浄化槽には、し尿のみ処理する単独処理浄化槽もあります。※現在新たに設置できるのは、合併処理浄化槽のみ

浄化槽設置整備事業

平戸市では、新たな合併処理浄化槽の設置や汲み取り、または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助金を交付しています。



詳細はこちら▼

浄化槽の維持管理

浄化槽は、槽内で働く微生物の力で汚水をきれいにする設備です。そのため、適切な維持管理を行わなければ、本来の浄化機能を十分に発揮できません。浄化槽の機能が低下すると、悪臭や地域の生活環境の悪化の原因になるため、法律に基づく保守点検や清掃、法定検査を適正に実施しましょう。



▲合併処理浄化槽

問 市民課生活環境班 ☎22-9121

図 観光課観光振興班 ☎22-9140



▲来場者 30 万人目となった狩野桃香さん（中右）と篠崎海人さん（中左）

歴史の節目を刻む、平戸城30万人来場

8月11日、平戸城の来場者数が令和3年4月のリニューアルから累計30万人を突破しました。30万人目となったのは、この日、観光で平戸城を訪れた狩野桃香さん（福岡県北九州市）と、篠崎海人さん（愛知県碧南市）のお2人で、松尾市長と平戸城の運営管理会社である株式会社狼煙の小林総支配人から記念品が贈呈されました。

30万人という節目を迎えた平戸城。これからも、平戸の歴史や文化を伝える観光施設として、次の節目に向けて歩みを進めていきます。

図 商工物産課物産振興班 ☎22-9141



▲レジ通過者 500 万人目となった野田努さんご家族

500万人が生んだ平戸瀬戸市場のにぎわい

8月12日、平戸市田平町にある平戸瀬戸市場では、レジ通過者が累計500万人を突破しました。記念すべき500万人目となった諫早市の野田努さんご家族には、松尾市長と平戸瀬戸市場協同組合の福海組合長から記念品が贈呈されました。

平成24年2月のオープン以来、平戸市の新鮮な農水産物や加工品などを販売してきた平戸瀬戸市場ですが、今後も平戸の「おいしい」を届け、魅力を発信する場所として、さらなる利用の広がりが期待されます。

村リーグ

先日、サッカーのワールドカップが終わりました。中国代表は残念ながらワールドカップでは出番が少なかったものの、サッカーは中国で人気のあるスポーツの一つです。近年、中国では「村超」と呼ばれる大会が注目されています。「村のスーパーリーグ」を略した言葉で、2023年に貴州省榕江県で始まりました。山あいの少数民族地域で、かつては貧困県だったこの場所、サッカーは村全体の祭りへと発展しました。

選手は農家や大工、教師、店員など、地元で暮らす普通の人々で、試合の日には、民族衣装を着た応援団が歌い踊り、賞品には牛や豚が贈られるなど、地域らしさがあります。



▲緑のピッチで踊る少数民族の人々（撮影：貴陽老六）



国際交流員
張 芸
(チョウ・ゲイ)
(中国出身)



平戸市ホームページに活動報告を随時掲載します。ぜひご覧ください。▶

図 企画課移住・定住政策班 ☎22-9105

としても利用できますので、皆さんぜひお気軽にお越しください。



▲森の冷気に包まれる沢登り体験



▲そうめん流しに挑戦



▲制作した糸掛けアート



▲ピザ窯で焼いた本格ピザ

地域おこし協力隊活動報告 vol.19

紙漉の里をたくさんの人が集う場所へ

そのだ 美貴 隊員

交流拠点として楽しんでもらえる施設を目指して

紙漉の里は自然豊かで、訪れる人がゆったりとした時間を過ごせる場所です。特に夏には、そうめん流しや沢登り体験などのメニューがあり、暑い時期でも自然を存分に楽しめる体験メニューが充実しています。

今年は例年以上ににぎわいを見せ、地元の小中学生はもちろん、北海道枝幸町から交流で訪れた生徒の皆さんにもお越しになりました。そうめん流しや沢登りのほか、紙漉き体験、すいか割りなど、自然と伝統文化に触れられる多彩なプログラムを楽しんでもらい、子どもたちからは喜びの声がたくさん寄せられました。

また、季節を問わず参加できるワークショップも随時開催しており、糸掛けアートやピザ窯を使った本格ピザづくり体験など、幅広い年代の人に楽しんでもらえる内容です。ご家族や友人同士はもちろん、地域の交流の場



まち協トピックス イベント情報などをピックアップ

まち協の取り組みにご注目ください！

☎ 企画課地域振興班 ☎22-9105

◆中南部まち協親善グラウンドゴルフ大会

と き 9月23日(水・祝) 午前9時～
※雨天時9月26日(土)

ところ 志々伎浦漁港運動公園グラウンド

中南部5地区(野子まち協管内は除く)の住民交流を目的に、グラウンドゴルフ大会を開催します。9月10日(木)までに各まちづくり運営協議会へお申し込みください。

※参加費は1人あたり500円です。



◆志々伎山登山&野子ウォーク

と き 10月10日(土) 午前8時30分～

ところ 野子厚生会館(集合)

志々伎山登山およびクルージング参加者を募集しています。登山は野子厚生会館から戸屋久を巡る約6キロメートルのコースです。参加費は無料で、志々伎山クルージングや新米のカレーライスもあります。

※申込期限は10月2日(金)で、当日参加不可。



野子地区まちづくり運営協議会 ☎27-1613

※掲載しているイベントの開催については、変更となる場合があります。



平戸市の自然や文化、歴史的遺産の魅力を紹介

平戸学講座 vol.21

中野窯跡

平戸市山中町にある自然体験施設「紙漉の里」のすぐそばには、かつて磁器を制作していた「茶碗窯」と「皿焼窯」という2つの窯がありました。現在は「中野窯跡」と呼ばれ、長崎県指定史跡となっています。

この窯は、1590年代に、豊臣秀吉の命で朝鮮半島に出兵していた松浦家第26代鎮信(法印)が平戸に帰国する際に朝鮮人陶工を連れ帰り開かせたとされています。

平成4～5年に実施された発掘調査の結果から、斜面にトンバイと呼ばれる耐火レンガを積み上げてドーム状の窯を築き、それらを連ねた階段状連房式登り窯が存在していたことが明らかになりました。また、周辺からは物原と呼ばれる、失敗作の廃棄場所も見つかっており、大量の陶磁器や窯道具も

出土しています。

中野窯は、品物の流通量などから試験的に操業されていたと考えられており、1650年ごろまで存続していたことが発掘成果や古文書などから分かっていますが、その後は、同じ平戸領であった現在の三川内に移り、発展していきました。そのため、三川内焼の源流は中野窯にあったといっても過言ではなく、中野窯跡は平戸から三川内へと受け継がれた技術と文化を伝える重要な遺構です。



茶碗窯跡▲



皿焼窯跡▲

☎ 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143

そうだ

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『離島めし』

文・写真・イラスト/黒岩正和
出版社/カルチャーコンビニエンスクラブ、
光村推古書院

空腹時に読むのは要注意。一般人が入島可能な有人離島のうち、平戸を含め99の島の旨いものが、その島の情景写真とともに、紹介されています。胃袋で覚えたあの島のあの味に加え、その島にまつわるコラムもおもしろい。旨いものに会おうため、どの島から足を運びましょうか。



『おひとりシニア、1年生』

著/岸本葉子
出版社/中央公論新社

今どきの流れに、なんとか取り残されないよう、しかし、自分を失わないよう、無理せず日々を過ごす。著者の先々の不安や楽しみへの考え方に、思わず読者も納得してしまいます。自然の移ろいや心身の衰えなどを交えた、だれもが共感するような60編のエッセイが詰まった1冊です。



『しらべるふうけいのずかん』

文/おかべたかし
写真/やまだたかし
出版社/東京書籍

くねくねの線が引かれた道路、薄くてペラペラに見えるタワー、船を通すために道が立つ橋など、驚きと不思議がいっぱいの全国各地32カ所にある珍スポット。そのしぐみを写真で解説・紹介する一冊です。



『きゅうりができた!』

構成・絵/さいとうしのぶ
出版社/のら書店

ねこのきょうだい、ぐー・ちー・ぼんといっしょに歌おう!「きゅうりができた さあたべよう」のフレーズが楽しい、乳幼児との体ふれあい遊びにもおすすめの絵本です。



『やらなくてもいい宿題2 秘密基地奪還!編』

作/結城真一郎
出版社/主婦の友社

小学5年生の数斗たちが作った秘密基地を、上級生軍団に乗っ取られた。取り戻すためには敵の出す算数問題を攻略しなくてはならない。簡単そうに見えて実は罠だらけの超難問。果たして、数斗たちは秘密基地を取り戻すことができるのか!?



『おはなしのとき』

著/朝比奈あすか
出版社/双葉社

詐欺電話で大金を奪われ、娘から固定電話の解約を求められた79歳の時子。寂しさを抱えている人の話し相手になろうと、解約までの期間限定で「おはなし電話」を開設することになりますが・・・。



図書館のイベント情報

会 場	主 な イ ベ ント	開 催 時 間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	9日(水)・23日(水・祝) 午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」(未来創造館ホール) 『小さき麦の花』(中国・字幕:120分)	12日(土)・24日(木) 午後2時～
	絵本作家えがしらみちこ氏 ①講演会②やさしい水彩ぬりえ教室	20日(日)①午前10時30分～(60人) ②午後2時～(20人)※各要申込
	ライブラリーコンサート(平戸図書館) ■今月の出演は竹友会の皆さん、「筆・尺八愛好会の軽音楽と瑞雲寺御住職の御詠歌」です。どうぞお楽しみに!(予定)	26日(土) 午後7時～
永田記念図書館	おはなし会(永田記念図書館)※随時変更することがあります。	毎週土曜 午前10時30分～
	健康脳トレ教室(永田記念図書館)	7日(月) 午前10時～

今月の休館日 永田記念図書館: 9月1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火・祝)・27日(日)・29日(火)

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎22-9182
南部公民館図書室	☎22-9191
生月図書室	☎22-9202
田平町中央公民館図書室	☎22-9211
大島村公民館図書室	☎55-2511

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
スマートフォンなどから二次元コードを読み込んで簡単にアクセスできます。



健康づくり応援コーナー



ペアレントメンターカフェの開催

☎ こども未来課母子保健班 ☎22-9136

「子どもの行動が理解できない」「学校でうまくやっていたのかな?」「今後の就学・進学・就職はどうなるんだろう」などの子育て中の悩みを、ペアレントメンター(発達が気になる子どもを育てている保護者で研修を受けた人)とお話してみませんか。

○とき 9月26日(土) 午前10時～午後4時(予約不要)

○ところ 平戸市福祉保健センター(平戸市田平町里免90番地 平戸市役所田平支所裏)

○内容 ペアレントメンターが自身の子育て経験を生かして、子育て中の保護者の悩みに共感し、寄り添い、情報提供などを行います。

○実施機関 長崎県ペアレントメンター事務局



よく噛むことが健康への第一歩!

☎ 健康ほけん課健康づくり班 ☎22-9125

皆さんは、食事のときに「よく噛むこと」を意識していますか。忙しい毎日の中では、つい早食いになってしまう人も多いかもしれません。しかし、よく噛んで食べることは、お口の健康だけでなく、全身の健康を維持するためにも大切な習慣です。

食べ物をしっかり噛むと唾液がたくさん分泌されます。唾液には、お口の中の汚れを洗い流したり、細菌の増殖を抑えたりする働きがあり、むし歯や歯周病の予防につながります。

また、食べ物を細かく砕いて飲み込みやすくすることで、胃や腸への負担を軽くし、消化を助ける役割も果たしています。

さらに、噛むことは脳への刺激にもなります。しっかり噛むことで脳の血流が増え、集中力や記憶力の維持に役立つと言われています。食事に時間をかけてよく噛むことで満腹感も得られやすくなり、食べ過ぎの予防にもつながります。

一方で、歯を失ったまま放置していたり、入れ歯が合っていないかったりすると十分に噛むことができず、柔らかい食べ物を選ぶ機会が増えてしまいます。その結果、栄養が偏ったり、噛む力や飲み込む力が低下したりすることも少なくありません。こうした変化は、健康寿命にも影響すると考えられています。

いつまでもしっかり噛めるお口を保つためには、毎日の歯磨きに加え、歯間ブラシやデンタルフロスを取り入れたお手入れを続けることが大切です。また、定期的に歯科医院を受診し、むし歯や歯周病の早期発見・早期治療、入れ歯やかぶせ物の点検を受けることで、噛める状態を長く維持しやすくなります。



食事は毎日の暮らしの中で欠かすことのできない大切な時間です。「あと一回だけ多く噛んでみよう」という小さな心掛けを続けることが、お口の健康を守り、将来の健康づくりにもつながります。

噛む力は年齢とともに変化し、意識していないと弱まってしまうこともあります。この機会に、ご自身やご家族の「噛む力」や食習慣をあらためて見直し、毎日の食事をより豊かで健康的なものにしてみてはいかがでしょうか。今日の1回が、未来の健康につながります。

北松歯科医師会

「地域でいきいき」通いの場 VOL.110

平戸市内各地域で、週に1回以上、「平戸よかよか体操」や趣味活動を行う住民主体の通いの場を紹介します。

☎ 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133

「仲間と取り組む介護予防」

令和8年4月に活動を始めた、「油水白岳会」。団体設立から約半年が経過し、仲間と声を掛け合いながら元気に活動しています。

油水白岳会 代表/野中 日出海 さん

活動日/毎週金曜日 午前9時30分～

活動場所/油水公会堂

開催地区/油水地区

特徴/歩いて参加できる身近な集まりです。今まで交流機会が少なかった人たちが毎週集まり、共に声を掛け合い支え合う、温かな場所です。



「平戸よかよか体操」CD・DVDを無償貸し出し中です!また、平戸市ホームページでも動画を公開しています!

9月のオレンジカフェ日程表

※参加料がかかる場合があります。

平戸市内各地域でオレンジカフェを開設しています。内容は、脳トレ、認知症予防講話、情報交換、茶話会、専門職相談など、事業所ごとに異なります。参加する際は、下表の連絡先に事前にご連絡ください。

名 称	と き	と ころ	連 絡 先
認知症予防カフェ「とかじん」	9月27日(日) 10:00～12:00	デイサービスセンターとかじん(岩の上町)	デイサービスセンターとかじん (☎23-3388)
介護予防カフェ「毎快Deカフェ」	9月5日(土) 9:00～11:00	木引田介護スクエア内(木引田町)	リハビリ特化型通所介護毎快 (☎22-7154)
介護予防カフェ「よろうで喫茶」	9月15日(火) 10:15～12:00	平戸市社会福祉センター(岩の上町)	平戸市社会福祉協議会 (☎22-2180)
介護予防カフェ「えつなん」	9月13日(日) 10:00～11:30	平戸市ふれあいセンター(紐差町)	代表 濱田 (☎090-3850-8153)
介護予防カフェ「なんぶカフェ」	9月24日(木) 10:00～12:00	多目的研修センター(辻町)	平戸市社会福祉協議会 (☎22-2180)
認カフェ「いなほ」	9月24日(木) 13:30～15:00	和く話く交流館(生月町)	いなほグループ (☎53-3012)
介護予防カフェ「ゆ〜らり」	9月16日(水) 10:30～12:00	生月高齢者生活福祉センター(生月町)	平戸市社会福祉協議会生月支所 (☎53-2615)
介護予防カフェ「ふれあいカフェ」	9月9日(水) 14:00～16:00	大島高齢者生活福祉センター(大島村)	平戸市社会福祉協議会大島支所 (☎55-2100)
介護予防カフェ「ニコニコ」	9月3日(木) 13:30～15:00	平戸市福祉保健センター(田平町)	平戸市社会福祉協議会田平支所 (☎57-2223)

要チェック！

普段の生活に欠かせない情報

今月の各種相談日・市税の納期限・休日当番医・休日のごみ受入日・休日のマイナンバーカード交付窓口・検診日程などは、二次元コードから平戸市ホームページをご確認ください。



詳細はこちら▼

漫画『キャプテン翼』に登場する「比良戸中学校」のモデルとなった平戸市で、「第2回『キャプテン翼』CUP in 平戸(比良戸)ジュニアサッカー大会」を開催します。

大会アンバサダーに『キャプテン翼』の原作者高橋陽一氏、スペシャルゲストにサッカー元日本代表選手を招き、U12ジュニアサッカーチームのサッカー大会のほか、高橋陽一氏やサッカー元日本代表

第2回『キャプテン翼』CUP in 平戸(比良戸)ジュニアサッカー大会

お知らせ

(☎22-9172)

◎問 農業振興課農地推進班



平戸市ホームページはこちら▼

◎募集人員 18人
○任期 委嘱日・農業委員任期満了日

現在、平戸市山中町(大越峠付近)の市道山中・紐差線では、皆さんの安全な通行のための道路改良を実施しており、今回、工事に伴う道路の交通規制を行います。

市道山中・紐差線の交通規制実施

(☎22-9214)

◎問 生涯学習課スポーツ推進班



詳細はこちら▼



©高橋陽一氏

選手のエキシビジョンマッチも行われます。応援・見学は自由です。

○とき 9月12日(土)午前9時開会

○ところ 平戸市総合運動公園ライフカントリー多目的グラウンド

◎問 日本風力開発株式会社
(☎03-3519-7481)



詳細はこちら▼

環境影響評価法に基づき、事後調査の結果をとりまとめた環境影響評価報告書の縦覧を行います。

○とき 9月1日(火)～10月1日(木)

○ところ 市民課(①番窓口)、南部出張所

※9月1日(火)以降、左の二次元コードからも縦覧できます。

平戸南風力発電所の環境影響評価結果の縦覧

◎問 建設課道路建設班
(☎22-9161)



平戸市ホームページはこちら▼

なお、交通規制に関する実施期間などの詳細は、平戸市ホームページをご確認ください。

Please Check

見逃せない情報がココに

見落としがちだけど重要な「募集」「お知らせ」などの「情報」が満載
このページも見落とさないで、要チェック！

■平戸市役所 ☎22-4111 ■生月支所 ☎22-9200 ■田平支所 ☎22-9210 ■大島支所 ☎55-2511
■中部出張所 ☎22-9180 ■南部出張所 ☎22-9190 ■館浦出張所 ☎22-9204 ■度島連絡所 ☎22-9176

募集

乳児への育児用品貸出

◎貸出用品と貸出台数

①ベビーベッド 10台

②チャイルドシート 10台

(ISO FIX式のため、取り付け予定の車に専用の金具があることを確認の上、お申し込みください。シートベルトでの固定はできません)

※1歳の誕生日の前日まで

※応募者多数の場合は抽選

◎対象者 平戸市内に住所を有する乳児(12月31日(木)までに出生予定を含む)の保護者または里帰り先の祖父母など。

○申請期限 9月15日(火)

※出産予定日の2週間前

から(出産以外の場合は、9月24日(木)以降)貸出可能です。

○申請方法

▼LINEでの申請

▼窓口での申請

※母子健康手帳必要

※育児用品の貸出・返却は、こども未来課⑧番窓口、または各支所・出張所が窓口となります。



申請はこちら▼



◎問 こども未来課子育て支援班
(☎22-9137)

農業委員・農地利用最適化推進委員募集

任期満了に伴い、次期農業委員および農地利用最適化推進委員を募集します。

○募集期間 9月4日(金)～10月2日(金)

○推薦・応募方法 平戸市ホームページまたは農業委

員会事務局、各支所・出張所窓口にて提出

員会事務局、各支所・出張所窓口にて提出

○被推薦者・応募者資格共通事項(次のいずれにも該当しない人)

▼破産手続開始の決定を受けた復権を得ない人

▼拘禁以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの人

▼平戸市の執行機関の委員および平戸市職員

農業委員

○被推薦者・応募者資格

農業に関する識見を有し、農地利用の最適化の推進や農業委員会の職務を適切に遂行できる人

○募集人員 19人(うち10人以上は認定農業者など)

○任期 令和9年3月1日～令和12年2月28日

農地利用最適化推進委員

○被推薦者・応募者資格

農地利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、担当地域内の農地利用最適化を適切に遂行できる人

なお、交通規制に関する実施期間などの詳細は、平戸市ホームページをご確認ください。

快適な生活環境のお手伝い

有限会社 鶴丸設備

営業種目

給排水設備工事 浄化槽設備工事

浄化槽維持管理 浄化槽清掃

どんな小さな事でもお気軽にご相談ください。

TEL.0950-23-3629 FAX.0950-23-3921

平戸市大久保町1732番地4

平戸 鳥屋 TSUTAYA

平戸銘菓 カスドース

全国発送承ります

平戸市木引田町431 桜針の館

TEL 0950-23-8000 FAX 0950-23-8700

https://www.hirado-tsutaya.jp

平戸推薦 — ふるさとの味 —

ひらどロマン

平戸市森林組合

平戸市宝亀町91-1

TEL 0950-28-0300

お知らせ

秋の全国交通安全運動の実施

9月21日(月・祝)～30日(水)の10日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。

重点実施項目

▼歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進

▼夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

▼自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

スローガン

それいいね 夜道にきらり 反射材

総務課危機管理班

(☎22-9101)

毎月1日は火災予防の意識

毎月1日午前9時に火災予防広報を行っています。各

平戸城・幸橋ライトアップ

オレンジライトアップ

国際アルツハイマー病協会は、9月21日を「世界アルツハイマーデー」と定めています。平戸市では、この取り組みに合わせて平戸城と幸橋を認知症イメージカラーのオレンジ色にライトアップします。

○とき 9月15日(火)～21日(月・祝)午後7時30分～午後8時30分

長寿介護課高齢者支援班

(☎22-9133)

ブルーライトアップ

世界ろう連盟は、9月23日を「手話言語の国際デー」としています。平戸市では、当日に平戸城および幸橋をブルーカラーにライトアップします。

○とき 9月23日(水・祝)午後7時30分～午後8時30分

◎問 福祉課障害福祉班
(☎22-9130)

家庭、火の元の確認など火災予防の日にしましょう。

また、9月からの火災予防広報は、深月地区少年消防クラブ員で平戸観光応援アンバサダーでもある西山琳久さんの声でお届けします。



◎問 消防本部予防課
(☎22-3167)

障害者就業生活支援相談会

障害者就業生活支援相談会を開催します。長崎県北地域障害者就業・生活支援センターの職員が相談に応じます。ぜひご利用ください。

○とき 9月15日(火)午後1時～午後3時

未来創造館和室

◎問 長崎県北地域障害者就業・生活支援センター
(☎0956-76-8225)

自殺予防週間

9月10日(木)～16日(水)は自殺予防週間です。悩みをお持ちの人、困っている人は一人で抱え込まず、まずは家族や友人など、身近な人に相談してください。

長崎県では、SNSや電話での相談対応を行っていますので、ご利用ください。

○相談受付 午後6時～午後9時30分



ここるところのほっとライン@ながさき

相談以外の選択肢で、しんどい気持ちをやり過ごす・不安を吐き出すことができるサイトもあります。



しんどい気持ちをやり過ごす・不安を吐き出すサイト

◎問 福祉課障害福祉班
(☎22-9130)

新旧国際交流員がつなぐ、地域の未来

◎ 文化交流課交流推進班 ☎22-9143



7月29日にオランダの国際交流員退任式が行われ、松尾市長から、これまで国際交流に尽力したジョセフィネ・スミットさん(写真左)へ感謝が伝えられました。ジョセフィネさんは「平戸市の皆さんが温かく接してくれたことがとても嬉しかった。平戸は特別な場所」と挨拶しました。

8月7日に行われたオランダの国際交流員着任式では、新たに着任したジュディス・ファン・エスさん(写真右)が、「平戸の文化を学びながら、国際交流のために一生懸命頑張りたい」と抱負を述べました。



小学校入学前幼児の健康診断

◎ 学校教育課指導班 ☎22-9212

対象幼児の保護者の皆さんへ、8月中旬に案内を送付していますので、必ず受診してください。案内が届いていない場合はご連絡ください。

○対象者 令和2年4月2日～令和3年4月1日の間に生まれた幼児

と き	ところ	対象学校
10月5日(月) 午後1時～	生月町中央公民館	生月小学校
10月6日(火) 午後0時50分～	平戸小学校	平戸小学校、田助小学校、中野小学校
10月7日(水) 午後1時～	ふれあいセンター	紐差小学校
10月16日(金) 午後1時～	多目的研修センター	津吉小学校、志々伎小学校、野子小学校
10月20日(火) 午後0時10分～	度島小学校	度島小学校
10月22日(木) 午後1時40分～	大島小学校	大島小学校
10月27日(火) 午後0時50分～	たびら活性化施設	田平北小学校、田平南小学校、田平東小学校

※平戸小学校敷地内には車の乗り入れおよび駐車はできません。

想いをかたちに…
故人と語り、自分を見つめ直す…
お墓は大切な家族の記念碑です。
墓石・記念碑・設計～施工

有限会社 松永石碑店
〒859-5704
長崎県平戸市生月町山田免2331
TEL 0950-53-2816

私たちが受けたい歯科医療をそのまま

NATURAL TEETH 歯
なちゆるるティース

長崎県平戸市生月町老部浦3-1
(生月JAガソリンスタンド近く)
TEL 0950-26-5555
完全予約制 生月 歯医者 検索

CAR SHOP
Tanaka Motors
田中モーターズ

新車・中古車販売 車検 点検 钣金 保険
田中モーターズ
〒859-5152 長崎県平戸市鏡川町1146-1 TEL 0950-22-2674

相続による名義変更はお済みですか？
登記費用のお見積もりは無料です。
まずはお気軽にお問い合わせください。
☎0950-26-0077
登記手続きならおまかせください！スタッフ一同お待ちしております！

松田信哉司法書士法人 平戸事務所
代表司法書士 松浦寛(登録番号：長崎445号)
平戸市築地町561-1 (平戸市役所から徒歩3分)

宝くじで地域の元気をつくる！

～コミュニティ活動を支える助成事業～

☎ 企画課政策企画班 ☎22-9111

地域のお祭りや交流行事など地域活動を充実させるために、地区公民館の施設や設備の整備などのコミュニティ活動への支援として、宝くじの収益金を活用した「コミュニティ助成事業」があります。

コミュニティ助成事業とは？

一般社団法人自治総合センターでは、宝くじの収入を原資とする社会貢献広報事業として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するため、地域活動に必要な助成事業を行っています。

コミュニティ助成金で整備

今年度、コミュニティ助成事業を活用して整備した事例を紹介します。今回の整備で地域の皆さんが、快適に安心して集える環境ができました。今後も地域コミュニティの活性化につなげていきます。

白浜地区で整備した備品



▲椅子



▲テーブル

岳崎区で整備した備品



▲椅子



▲テーブル



▲エアコン



▲テント

令和9年度コミュニティ助成事業の募集

- 対象団体 平戸市が認めるコミュニティ組織（自治会や町内会、自主防災組織など）
○事前相談窓口 企画課政策企画班 ○事前相談期限 10月2日（金）
※平戸市で取りまとめて自治総合センターへ申請するため、申請予定の団体は、必ず事前にご相談ください。
○主な助成内容

一般コミュニティ助成事業

- ▶内 容 コミュニティ活動に直接必要な設備などの整備
▶助成額 100万円～250万円
▶事業例 テントや遊具、備品などの整備

コミュニティセンター助成事業

- ▶内 容 地区公民館の建設およびその施設に必要な備品の整備
▶助成額 対象事業費の5分の3以内。ただし、上限2,000万円

地域防災組織育成助成事業

- ▶内 容 自主防災組織などが行う地域の防災活動に直接必要な設備の整備
▶助成額 事業区分ごとに異なる
▶事業例 AEDや消防ポンプ、発電機など



詳細はこちら▼



お知らせ

希少なチョウの勉強会

平戸島・生月島に生息する希少なチョウ「タイワンツバメシジミ」の勉強会を開催します。

- と き 9月13日（日）午後1時30分～午後3時
○ところ 未来創造館
○講師 日本チョウ類保全協会 中村 康弘 氏
○申込方法 電話
○参加費 無料



◎問 環境省佐世保自然保護官事務所
(☎0956・42・1222)

国民年金保険料の追納制度

国民年金保険料の免除・納付猶予・学生納付特例の

都市計画課からのお知らせ

屋外広告物設置者などの適正管理義務

- 屋外広告物の設置者および管理者には適正管理の義務（点検義務）があります。
○点検義務の例
▼定期的な安全点検
▼倒壊・落下の恐れがある物の撤去・改修など
屋外広告物は、まちの情

追納には、追納申込書の提出が必要です。

期間がある場合、老齢基礎年金の受給額は全額納付した場合より少なくなります。将来の年金額を増やすため、これらの期間の保険料は、10年以内であればさかのぼって納める（追納）ことができます。ただし、3年度目以降の期間を追納する場合は、当時の保険料に加算額が上乘せられます。

◎問 佐世保年金事務所
(☎0956・34・1189)

長崎県下水道排水設備工事責任技術者試験

- 平戸市では長崎県屋外広告物条例に基づき、「屋外広告物適正化旬間（9月1日～10日）」に違反広告物のパトリールや指導を行います。
◎と き 11月8日（日）午後1時～午後4時
○ところ （公財）長崎県建設技術研究センター
○試験内容 責任技術者として必要な知識および技能
○受験手数料 1万円
○受験資格 学歴に応じて下水道工事などの実務経験が必要
○申込期間 9月1日（火）～24日（木）（消印有効）
○申込先 NBC情報システム株式会社ビジネスアウツソーシング本部下水道責任技術者係
※簡易書留で郵送または

持参

◎問 都市計画課ふるさと景観班
(☎22・9165)

平戸くんち城下つんのーで祭ステージイベント出演団体募集

10月24日（土）・25日（日）に開催する「平戸くんち城下つんのーで祭」で、歌や踊り



詳細はこちら▼

◎問 平戸商工会議所
(☎22・3131)

平戸商工会議所ホームページ掲載の申込書に必要事項を記入し提出



詳細はこちら▼

などを披露する平戸市内の出演団体を募集します。
○と き 10月25日（日）
○ところ たけだメルカド駐車場特設ステージ（宮の町）
○募集締切 9月25日（金）
○申込方法 平戸商工会議所ホームページ掲載の申込書に必要事項を記入し提出

海を駆ける、力強い漕ぎ 館浦競漕船大会実行委員会 ☎53-1515



7月19日に、館浦港で「館浦競漕船大会2026」が開催され、地区対抗・一般・女性の部合わせて33チームが白熱した戦いを繰り広げました。レース後は「魚のつかみ取り」も行われ、子どもから大人まで楽しんだ催しとなりました。



8/6 Hirado City Photo News 歴史と文化に触れる交流



平戸市・枝幸町いきいき交流事業で、北海道枝幸町から中学生など8人の訪問団が平戸市を訪れました。この交流は、旧生月町(現平戸市)と旧歌登町(現枝幸町)の「国道も鉄道もない市町村連絡会議(ないないサミット)」でのつながりがきっかけで、平成14年から行われています。

期間中は、平戸城や松浦史料博物館など平戸市内施設の見学や、紙漉の里での紙漉き体験などを行いました。また、9日は田平中学校の平和学習に参加し地元の中学生と交流しました。

8/5 Hirado City Photo News 中学生が考える平戸の未来



未来創造館で「ふるさとの未来を語ろう座談会」が開催され、平戸市内8つの中学校から18人の中学生が参加しました。座談会では、「松浦市のアジフライに対抗できる『食』について考えよう!」をテーマに、グループに分かれて議論が行われました。

松尾市長や入口教育長から助言を受けながら白熱した意見交換が行われ、「アゴを使った特産品の開発」や「シイラフライに合う平戸夏香・アスパラガスを使ったタルタルソース開発」など、中学生ならではの柔軟な発想からさまざまな意見が出されました。

7/18 Hirado City Photo News 高校生がゴミ拾いで競う



荒崎海水浴場(古江町)でスポGOMI甲子園2026長崎県大会が開催されました。

スポGOMI甲子園は、高校生が3人1組で拾ったゴミの種類や重さでポイントを競う地球にもっとも優しいスポーツです。

平戸市内外から20チーム60人の高校生が参加し、1時間で合計191.97キログラムのゴミを拾いました。46.68キログラムのゴミを拾って優勝した平戸高校の「きたべっぴ」チームは、11月22日(日)に東京で行われる全国大会に出場予定です。

7/18 Hirado City Photo News 輝くランタン、熱いステージ



7月4日～26日に開催された鄭成功ランタンナイト七夕光の宴の関連イベント「鄭成功フェスティバル」が鄭成功記念館特設ステージ(川内町)で行われ、地元特産のすり身揚げや、筑紫女学園大学の学生が鄭成功ソーダの販売を行うなど、多くの出店が並びました。

またステージでは、YOSAKOIやダンス、権現太鼓やバンド演奏、カラオケ大会、中野愛児園のお遊戯、川内町踊り、子どもジャンガラが披露され、会場は大いに賑わいました。

8/13 Hirado City Photo News 受け継がれる夏の風物詩



紙で作った花などで飾り付けた笠を被って五穀豊穡や地域の繁栄を祈願して舞う「ジャンガラ」や「須古踊り」が平戸市内各地で奉納されました。

今年は、7地区(戸石川、川内、山中、紐差、宝亀、中津良、津吉)のジャンガラと4地区(獅子、的山、神浦、館浦)の須古踊りが行われました。

写真は中津良地区のジャンガラです。1日かけて地域を練り歩き、神社などで踊りを奉納します。堤の漁港では船で入港し、美しい海を背景に舞う姿に、大きな拍手が送られました。

8/10 Hirado City Photo News スポーツがつなぐ友好の輪



韓国・慶尚南道南海郡の宝島南海スポーツクラブから小学生ら25人が来平し、平戸市内のサッカークラブに所属する小学生とその家族との交流が行われました。韓国から参加した小学生は平戸の子どもたちの家にホームステイしたほか、平戸市内の観光施設を見学し、地域の文化に触れながら交流を深めました。

また、サッカーの親善試合も行われ、スポーツを通じて子どもから大人まで、言葉や文化の違いを越えて仲を深める姿が見られました。

8/1 Hirado City Photo News 商店街の夏のにぎわい



旧十八銀行駐車場で「商店街にぎわい夏まつり」が開催されました。屋台やキッチンカー、ふうせんコーナー、わたがし体験、輪投げなど、子どもから大人まで楽しめる催しが並び、多くの来場者でにぎわいました。

また、会場では7月に発生した熊本地震の災害支援のため、義援金の受付が行われました。8月7日に平戸料飲業組合の鴨川組合長が市長室を訪れ、集まった義援金を松尾市長へ手渡しました。この義援金は日本赤十字社を通して被災地へ届けられます。

8/1 Hirado City Photo News 森の秘密を楽しく学ぶ



ふれあいセンターで、小学生を対象に「ひらどエコフェスタ フィールドワーク編～木になる森のひみつ～」が開催され、11組34人が参加しました。

安満岳では、平戸市森林組合のプロセッサーを使ったヒノキの伐採作業を見学。普段はなかなか見ることのできない迫力の作業に触れ、参加した子どもたちはわくわくした表情で見入っていました。

その他にも、木育積み木や、太陽光パネルで回転する木製の人工衛星の工作などを通じて、森や木の大切さについて学びました。

Happy Birthday

vol.172
9月生まれの皆さん



大野 風くん
R6.9.19 2歳(田平町)



吉田 陽依ちゃん
R4.9.26 4歳(岩の上町)



川口 弥来莉ちゃん
R5.9.11 3歳(田平町)



松嶋 優衣ちゃん
R6.9.23 2歳(戸石川町)



古川 姫麗ちゃん
R4.9.14 4歳(度島町)



北川 翔音くん
R7.9.17 1歳(岩の上町)



福本 心結花ちゃん
R4.9.1 4歳(田平町)



中山 葉太くん
R2.9.3 6歳(鏡川町)



船屋 茜桜ちゃん
R4.9.17 4歳(大久保町)



竹林 楓ちゃん
R3.9.7 5歳(田平町)



山崎 羽純ちゃん
R3.9.29 5歳(野子町)



山崎 結陽ちゃん
R5.9.28 3歳(野子町)



山口 りあちゃん
R3.9.8 5歳(田平町)



畑中 李月くん
R4.9.17 4歳(田平町)



岩田 夏奈ちゃん
R2.9.1 6歳(大久保町)



原田 風くん
R3.9.14 5歳(紐差町)



平田 芳嗣くん
R2.9.4 6歳(紐差町)



近藤 真夏ちゃん
R6.9.3 2歳(戸石川町)

10月 生まれ 募集中

10月に誕生日を迎えるわが子の笑顔を、皆さんに届けませんか？このコーナーでは、小学校入学前の子どもの写真を募集しています。（市内在住者に限ります）

- 投稿方法 ①事前に右下の二次元コードから「平戸市公式LINE」を友だち追加してください。
②友だち追加後、再度、右下の二次元コードを読み込み「アンケートに回答する」から、質問事項に回答してください。

- 申込期間 **9月1日(火)～9月10日(木)**まで ●募集人数 **18人** (先着順)
※応募者多数の場合、**令和7年10月号**に掲載されていない人を優先します。
※ズームしすぎた写真は、枠に入らないためご注意ください。
※LINE設定から「送信する写真の画質」を「高画質」に変更し、送信してください。
※被写体の承諾については、投稿者の責任となります。



市民課戸籍住民班
☎22-9123

【平戸地区】
名前 永田 和行
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【田平地区】
名前 山口 瑛士
年齢 90歳
死亡日 7/18
行政区 獅子第4



【大島地区】
名前 吉浦 大村
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 小川 大村
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 福田 悠愛
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 山崎 一平
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 栗山 夏枝
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 馬込 千枝子
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 山崎 ショ
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 原 カヲル
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 栗山 信吾
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 山口 文隆
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 小松屋 久枝
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【大島地区】
名前 土谷 征義
年齢 90歳
死亡日 7/19
行政区 山中

【生月地区】
名前 寺坂 イチ子
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 山口 ルイ
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 石山 和則
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 田中 喜一郎
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 鳥飼 市郎
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 出口 演代
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 安達 七代
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 松本 栄子
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 西村 清史
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 川下 ツヨノ
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 山口 久夫
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 松本 かめ子
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 園田 孝子
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 栗山 夏枝
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 馬込 千枝子
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 山崎 ショ
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜

【生月地区】
名前 原 カヲル
年齢 90歳
死亡日 7/17
行政区 館浦浜



【大島地区】
名前 前田 常世
年齢 92歳
死亡日 8/9
行政区 前平

【大島地区】
名前 久保田 満夫
年齢 80歳
死亡日 8/12
行政区 西宇戸

【大島地区】
名前 村井 勇一
年齢 82歳
死亡日 8/13
行政区 前平

【大島地区】
名前 葛谷 勝治
年齢 89歳
死亡日 8/15
行政区 平戸口

【大島地区】
名前 前田 早苗
年齢 59歳
死亡日 8/5
行政区 万場

【大島地区】
名前 山口 忠信
年齢 88歳
死亡日 8/3
行政区 上里

【大島地区】
名前 立石 勝
年齢 91歳
死亡日 7/30
行政区 野田

【大島地区】
名前 赤木 怜二
年齢 86歳
死亡日 7/28
行政区 上里

【大島地区】
名前 山下 ヒデ子
年齢 88歳
死亡日 7/24
行政区 釜田

Town Topic

被災地支援のために



8月10日、熊本県八代市で避難所運営支援業務に8月11日～18日の8日間従事する職員の出発式が行われ、松尾市長が「安全を最優先に自覚と誇りを持ち活動してほしい」と激励。
今後も、給水活動や健康管理などの業務で、被災地に職員を派遣する予定です。

英語で思いを伝える



たびら活性化施設と平戸市街地でイングリッシュキャンプが7月21・22日に中学生、23・24日に小学生を対象に開催され、各40人が参加しました。ALTと英語でコミュニケーションを取りながらゲームや発表に挑戦し、英語への興味・関心を高める機会となりました。